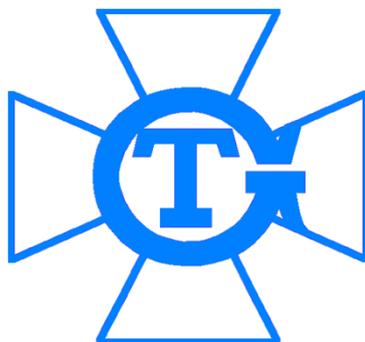


100th
Anniversary

東北学院同窓会 近畿支部 (TG青葉親睦会)

100年のあゆみ



東北学院同窓会 近畿支部
100周年記念事業実行委員会



(スマホからHPにアクセスしてください)





(仙台・土樋キャンパスの桜)

東北学院 校歌

1. 若人われらの 理想の国は
青葉の都よ ああ東北学院
※ (おりかえし)
世の光 わがほこり いざほめよや 友よ
もろごえ あわせて われらの学院
2. 大路ひとすじに たどり行けば
ちえの泉わく ああ東北学院
3. いくよ培いし 大和心
神の愛に咲く ああ東北学院
4. 命をささげし 真(まこと)の人
うたわるるいずこ ああ東北学院
5. 教えのみ母よ 汝(な)がころは
地のきわみまでも ああ東北学院

(出典：東北学院同窓会HP)

はじめに

近畿支部は2019年に設立100周年を迎えることができました。

これはたくさんの諸先輩の方々をはじめ、会員の皆さまのご支援の賜物と、感謝申し上げます。

100周年を迎えるにあたり、記念事業を実施することになり、具体的内容は、国吉支部長を委員長とする「**100周年記念事業実行委員会**」を設置して検討しました。

その結果、100周年記念事業の一環として、2019年7月には会員から長年要望があった仙台の母校訪問を実現することができました。さらに、近畿支部の歴史を調査し、学校関係者の方々や会員の皆さまのご協力をいただきながら、**100周年記念誌「近畿支部 100年のあゆみ」**を編集することになりました。

本資料をまとめるにあたり、東北学院大学 学生部次長 小原武久 様からご寄稿をいただき、また、前 校友課長 増田 敏 様には歴史調査にご協力いただきましたことを深く感謝申し上げます。

近畿支部としましては、100周年という大きな節目を迎え、過去の歴史を学ぶとともに、今後新たな節目に向かって活動を展開してまいります。

今後とも引き続き、近畿支部の活動にご理解とご支援をいただきますよう、お願い申し上げます。

東北学院同窓会 近畿支部
100周年記念事業実行委員会

目 次

はじめに	1
目次	2
1. 近畿支部 100周年に寄せて（寄稿）		
近畿支部 支 部 長	国吉 毅 3
東北学院大学 学生部次長	小原 武久 3
近畿支部 相 談 役	針生 壽則 4
近畿支部 副支部長（事務局）	戸田 康子 5
近畿支部 副支部長	丸山 匡 5
近畿支部 幹 事	青木 弘美、岡田 泰治、川端 征子、庄子 次雄 千葉 昌尚、松谷 一枝、森川 瑞穂 6
2. 近畿支部 100年のあゆみ	8
(1) 近畿支部の歴史（組織変遷：設立から100年間）		
(2) 最近10年間の活動（2010年から2019年までの10年間）		
(3) 最近4年間の活動（2016年から2019年までの4年間）		
3. 最近の活動を振り返って（2016年から2019年までの4年間）	9
4. 近畿支部 100周年記念事業の実施	13
5. 東北学院時報（抜粋）	15
6. 近畿支部 会員MAP	16
7. 資料		
資料1：近畿支部の歴史（組織変遷：設立から100年間）	18
資料2：近畿支部 最近10年間の活動（2010年から2019年までの10年間） <役員・幹事体制>	20
資料3：近畿支部 最近10年間の活動（2010年から2019年までの10年間） <主な活動>	22
編集後記		

1. 近畿支部 100周年に寄せて（寄稿）

近畿支部100周年に思いを寄せて

近畿支部 支部長 国吉 毅

長い間支部長をしていた針生さんから、私が支部長をお引き受けして1年足らずで支部設立100周年を迎えることになり、あっという間に100周年が来たんだなあという気持ちです。

支部設立はどのような流れでできたのか知る由もないのですが、私が大阪に就職をして近畿支部に顔を出すようになったのは40代の頃だったと思います。その頃は仕事が忙しく、時々しか参加できなかったことを覚えています。その当時の支部長や幹事の皆さまは会社でも上のほうに立っている方々ばかりでした。

その当時のことを思い出すと、私は近畿支部のために何もしてこなかったなあ、いまさらながら思っています。

今年の100周年記念行事を起点として、過去の先輩の皆さまの活動状況を参考にして、新しい行事を取り入れて会員との交流を密にして、幹事の皆さまと事務局の方々と、これからも近畿支部が発展していくように努力していこうと思っています。

何事も枠にはめず、会員の皆さまが「行事にはぜひ参加したい」と思っていただけのような、いろいろなアイデアを出していけたらと考えています。

これからも末永く近畿支部が続いていきますよう祈念しています。

近畿支部100周年記念事業「母校訪問」を振り返って

東北学院大学 学生部次長 兼 学生課長 小原 武久（元 校友課長）

「2019年7月8日（月）に近畿支部有志の母校訪問を計画したいと思いますが、いかがでしょうか？」と戸田康子さんから電話があり、併せて2019年1月26日（土）の近畿支部新年会へのご案内をいただきました。早速、近畿支部の皆さんとの再会と母校訪問の打合せを行いたいと思い、1月26日仙台空港発午前9時50分のANA738便を予約しました。ところが、当日朝、仙台空港に到着すると悪天候（降雪）のため「欠航」とありましたので、夕方の便に変更して大阪空港に向いました。その間、いくつかキャンセル待ちで搭乗できるかわかりませんでしたので、結局仙台空港に約6時間待機しました。

というのも、新年会には出席できなくとも、近畿支部有志の皆さんが、私が宿泊するヴィアイン梅田のロビーで私の到着を待っていることを知り、何としても母校訪問を思い出深いものにしなければならないと決意しました。

このようにスタート時は困難を極めましたが、7月8日は梅雨の晴れ間に恵まれ、絶好の母校訪問となりました。はじめに、近畿支部に縁（ゆかり）がある日野哲さん（東北学院史資料センター 調査研究員）から85年ぶりに修復を終えたラーハウザー記念東北学院礼拝堂のステンドグラスの説明があり、近畿支部の皆さんは学生時代を懐かしく思い出しながら聞き入っていました。また、イエス・キリストの昇天（ルカ福音書24章51節）の場面を極彩色で描いた正面のステンドグラスを目の当たりにし、その後、全員で集合写真を撮りました。地理的に母校訪問する機会がなかった近畿支部の皆さんにとって、この写真は最高のお土産（思い出）になったと思います。

母校訪問は、①ラーハウザー記念東北学院礼拝堂 → ②史資料センター → ③旧シップル館（現デフォレスト館（重要文化財）） → ④図書館（貴重本「アダム・スミスコレクション」、島崎藤村「若菜集」初版本などを見学） → ⑤90周年記念館（学食・ランチ）と約2時間の行程でした。

母校訪問を終え、急きょ予定を一日延ばしていただき、「利久・北目町店」にて懇親会を開催しました。当初は母校訪問時の夕方を予定していましたが、私の仕事の関係で前述のように予定を変更して開催したにも関わらず数名の方々にご出席いただき、牛タンをメインに三陸の海の幸と宮城の地酒をご堪能いただきました。母校訪問時と違って大変和やかに楽しく過ごすことができました。私にとっても大変思い出深い近畿支部（有志）の皆さんとの交流会になりました。初めてお会いした方でも、“同窓の絆”で固く結ばれていることから直ぐ仲良くなれ、楽しい会話が広がりました。これも同窓のよしみですね。この“よしみ”を近畿支部設立100周年が過ぎても大事にしていきたいと思っています。

近畿支部 100周年に寄せて（寄稿）

今から60年前に大阪に来て10年後に、支部に入会して50年。支部総会は15名から20名の出席で、名も顔も知らず、元気のない会でした。当時会員は転勤族が多く、大阪に根づいた人が少なく、元気がありませんでした。

一番苦しい時期は阪神・淡路大震災*の時で、連絡も取れず何とか幹事会だけはできて、2年に一度の支部会になり、寂しい思いでした。（*：1995. 1.17発生）

その後、支部長になり、たった一人の女性の戸田さんと組み、支部会を立て直す努力の日々でした。幸い女性会員も増え、出席者も増え、名前も顔もわかり、会っただけで話がはずみ楽しい会が続きました。

京都、宝塚、岸和田、和歌山、神戸、彦根等で会を開催し、多くの思い出を作り、会員同志が友達になり、会っただけで話がはずみ、同窓会の絆が深まりました。ここまで来るまでには、事務局幹事の大変なご苦労があり、東北学院で一番楽しい支部会になっていると思っています。

私も80歳を機に15年間続けた支部長を国吉氏に託しました。今後は経験を生かし、支部会の発展に尽くしていきたいと、努力していきます。

支部会員になって50年、100周年の半分を会員として過ごしてきたことを誇りに、また、東北学院に感謝し、静かに100周年を迎えていきたいと思っています。

近畿支部 相談役 針生 壽則（前支部長）



（参考）土樋キャンパス礼拝堂

豊中市に住んで26年、高槻市に転居して15年、もう大阪に住んで40年が過ぎました。

1970年に家族で大阪万国博覧会、京都・奈良を訪れて観光した時、高校の修学旅行で大阪・姫路を訪れた時にも、まさか自分が大阪に住むことになるとは思っていませんでした。

大学の担任教授から、「日本の古い文化に触れられるところに住むのは素晴らしい、いろいろ勉強してください」と言われて、大阪に来ました。

近畿支部の同窓会からご案内をいただき、初めて参加した時、男性ばかりの集まりで私は紅一点でした。それから何年かが過ぎ、子育ても一段落したころ、久々に同窓会に参加したときに、当時の針生支部長（現在 相談役）からお声をかけていただいたのをきっかけに、同窓会のお手伝いをさせていただくようになりました。最初は、私でも何かお手伝いすることができれば・・・と思っていましたが、数年が経ち、今は副支部長兼事務局という重責を担うようになりました。

この100周年を迎えた記念の年に事務局をさせていただき、参加者の皆さまからのご支援・ご協力をいただき、ささやかですが、お手伝いできましたことを大変光栄に思い、感謝申し上げます。また何十年ぶりに仙台を訪れることができ、懐かしい思いをさせていただきました。

前加美山事務局長が仙台に転勤されるのを機に、事務局を引き継ぎましたが、針生支部長の後押しがあったからこそ、何とか頑張ってきたと感謝申し上げます。

最初は手探りで案内状を出していましたが、今は幹事会も体制が整い、若い方々、女性の参加者も増え、元気な近畿支部（TG青葉親睦会）に育ってきたと思っています。

100周年を迎えるまでには、多くの諸先輩の方々が近畿でご活躍され、会を盛り立ててくれました。そのことに感謝し、今後この会を次の世代の方々に上手く引き継ぐことができますよう、現在の国吉支部長をお支えし、もうしばらくは頑張っていきたいと思っております。

近畿支部 副支部長（事務局） 戸田 康子

私が初めて近畿支部（TG青葉親睦会）に参加したのは、2004年にホテル阪神で行われた総会でした。当時東京から神戸に戻ってきて、これで東北学院との繋がりも希薄になるなど思い始めていたところに、戸田さんから総会の案内が送られてきました。

物見遊山的に参加してみるか程度で参加しましたが、今ではほぼ皆勤での参加、そして気が付いたら副支部長になっていました。

同年代の会員が極端に少ないですが、幸いなことに諸先輩の方々に可愛がっていただき、ここまでできました。こんな私も来年で49歳となります。

今年で近畿支部設立100年となりますが、先輩の方々が築いてくれました、この近畿支部の歴史を未来永劫繋げていくことが、私の役目だと思っていますので、どんどん近畿支部の輪を広げて、若い世代にも参加できる下地づくりをしていきたいと考えています。

近畿支部 副支部長 丸山 匡

近畿支部 100周年に寄せて（寄稿）

私が近畿支部同窓会に参加するようになり、10年程になるでしょうか。初参加の時には関西に大学時代の知り合いもおらず、その上女性の参加者も少なかったのが不安でしたが、先輩の方々にあたたかく迎えていただきましたので、同窓会が終わるころには「参加してみて良かった！次回も参加しよう」と思ったことを覚えています。

大学に通ってた当時一緒だった方がいる訳でもなく、年代もどちらかというと、大先輩方が多いのですが、「東北学院大学繋がり」というだけで安心感が生まれるのかもしれない。

仙台から遠く離れた関西での同窓会だからこそ、今後はさらにたくさんの同窓生に参加していただきたいです。そのためにも幹事の一人として頑張りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

近畿支部 幹事 青木 弘美

私が東北学院大学を卒業して、30年の月日が過ぎました。杜の都 仙台で過ごした大学生活は私の人生にとって貴重な財産となりました。

近畿支部（TG青葉親睦会）に100年の歴史があると知ったとき、諸先輩の方々のTG魂に尊敬の念を抱きます。また改めて、東北学院の歴史と東北学院大学卒業生の一人であることに誇りを覚えます。

今後も学生時代を想起できるようなTG青葉親睦会にしていきたいと思い、微力ながら幹事の一人として行動してまいります。

近畿支部 幹事 岡田 泰治

近畿支部（TG青葉親睦会）に参加させていただくようになって10年になりました。お馴染みの顔、新しい出会い、懐かしい同級生の再会があったりと、心を学生時代へ、故郷へと戻してくれる癒しの場となっています。

昨年には近畿支部の100周年記念として仙台での同窓会が実現しました。学校訪問、秋保温泉での同窓会、現役学院生の応援団との交流までと、盛り沢山の記念の同窓会になりました。

東北学院に学び、近畿支部に参加することに、今更ながら喜びを感じました。近畿支部が100周年を超えて、これからもずっと続きますように、皆さま、よろしくお願いいたします。

近畿支部 幹事 川端 征子

私が近畿支部の会合に参加するようになったのは、再就職した東京での仕事が終わって大阪・枚方に戻ってきた4年程前からです。参加してびっくりしたのは、針生さんが10年以上も支部長をしており、それを支えてきたのが事務局の戸田さんであり、この二人の存在があったからこそ、近畿支部が今日を迎えていることを知りました。

お二人の長年にわたる功績をたたえるために何かできることはないかを考えたとき、数年後に支部設立100周年を迎える機会に、二人の功績を記録として残そうとしました。それが記念誌の編集です。

また、皆さんからご要望のあった仙台での同窓会開催と母校訪問を、100周年を機会に実現しようと考え、時間をかけて皆さんに声をかけて、2019年7月に実現することができました。今回の100周年記念事業では学校関係者と会員の皆さまに大変お世話になりました。

今後は新たな気持ちで幹事の一人として近畿支部の活動を支えていきたいと考えています。これからもよろしくお願いいたします。

近畿支部 幹事 庄子 次雄

東北学院大学を卒業後、関西に就職して、京都府八幡市に居を構え、早50年。

東六番丁小学校、五橋中学校、仙台商業高等学校、東北学院大学と、仙台一筋の私には、新入会員の情報が懐かしく聞けて、また近畿各地での旅行、会合等、楽しく過ごさせていただきました。これも歴代の役員や事務局、幹事など、大変な努力の賜と思っています。

これからも近畿支部の発展を祈り、未永く見守りたいと思います。

近畿支部 幹事 千葉 昌尚

東北学院同窓会近畿支部から同窓会の案内をいただいた時は驚きました。仙台の学校の同窓会支部が大阪にあるなんて、思ってもいませんでした。

初めて出席した時の女性は4人。会の後、針生支部長（当時）と女性陣でお茶をして、すっかり意気投合し、いつの間にやら幹事となりました。

友人が多いのは宝です。同窓会に出席して友人を増やし、おしゃべり、食事、日帰り旅行等を楽しみましょう。皆さまのご参加をお待ちしています。

近畿支部 幹事 松谷 一枝

近畿支部100周年を迎え、東北学院の歴史の重みをしみじみ感じています。

私が同窓会に参加するきっかけとなったのは、戸田さんからの丁寧なお誘いを受けたことでした。子供が小さい頃はなかなか参加できなかったのですが、下の子が高校生になってからは、出かけられるようになりました。神戸での親睦会が初めての参加となりました。懐かしい仙台の話やカラオケなどで盛り上がり、今ではすっかり第2(?)の青春を楽しませていただいています。

結婚後、西宮に住んで28年と、仙台にいた頃より長くなりましたが、思春期を過ごした日々は忘れられないものです。私にとって心のふるさとのようなTG青葉親睦会、いたらぬ幹事ではありますが、これからもよろしく願います。

近畿支部 幹事 森川 瑞穂

2. 近畿支部 100年のあゆみ

(1) 近畿支部の歴史（組織変遷：設立から100年間）

東北学院同窓会近畿支部の歴史はかなり古く、1919（大正8）年5月の神戸支部発足がスタートで、その後大阪支部、京都支部が発足したのち、それら3支部が統合し「近畿支部」となり、現在に至っている。

詳細は資料1「東北学院同窓会近畿支部の歴史（組織変遷）」を参照ください。（P.18～P.19）

なお、この資料をまとめるにあたっては、当時の資料がほとんど残っておらず、推測している部分がある。

(2) 最近10年間の活動（2010年から2019年までの10年間）

近畿支部の役員・幹事体制及び主な活動について調査したが、過去の古い資料はなく、資料が残っていた2010年から2019年までの10年間について、まとめることができた。

最近の近畿支部の活動としては、毎年 新年会、お花見の会、納涼会及び総会を近畿各地で開催して会員相互の親睦を深めている。

活動にあたっては、必要に応じて幹事会を開催し、また2013年からは女子会を開催している。さらに2017年には近畿支部のHPを開設している。

近畿支部HPのアドレス <https://tg-aoba-kinki.simdif.com/>

また、2017年11月の総会で初披露された女子会によるハンドベル演奏は、その後総会や新年会などで披露されている。

なお、詳細は次の資料を参照ください。（P.20～P.23）

- ① 資料2「東北学院同窓会近畿支部
最近10年間の活動」＜役員・幹事体制＞
- ② 資料3「東北学院同窓会近畿支部
最近10年間の活動」＜主な活動＞

(3) 最近4年間の活動（2016年から2019年までの4年間）

最近4年間の活動は、次ページ以降に「最近の活動を振り返って」として写真入りでまとめた。（P.9～P.12）

特に、近畿支部設立100周年を迎えた2019年には、100周年記念事業として、会員から長年要望があった母校訪問と仙台・秋保温泉での懇親会を実現することができた。併せて、近畿支部の100周年記念誌を編集すべく作業を開始した。

3. 最近の活動を振り返って

3-1. 2016年

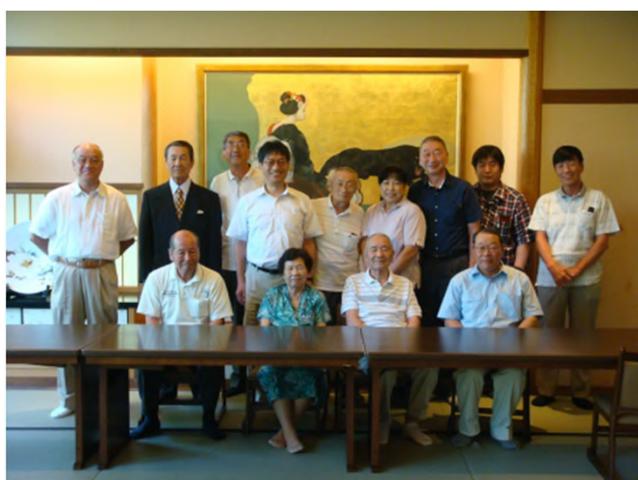
① 新年会

2016. 2. 6開催 20名参加
大阪 梅田 がんこ阪急東通店



② お花見の会

2016. 4. 2開催 20名参加
兵庫 宝塚
明月記 宝塚店
ナイチンゲール像見学



③ 納涼会

2016. 7.31開催 13名
和歌山 和歌山六三園
和歌山城散策



④ 総会

2016.11.12開催 26名参加
(来賓3, 会員23)
大阪 KKRホテル大阪
初めて礼拝実施

3-2. 2017年



① 新年会

2017. 2.26開催 19名参加
京都 嵐山 花筏
天龍寺拝観

② お花見の会

2017. 4. 2開催 16名参加
大阪 岸和田
川端 様 邸



③ 納涼会

2017. 7.29開催 22名
神戸メリケンパークオリエンタルホテル
神戸港クルーズ、ポートタワー見学

④ 総会

2017.11.11開催 31名参加
(来賓3, 会員28)
大阪 梅田 がんこ阪急東通店
支部長交代 (針生氏から国吉氏へ)
ハンドベル演奏初披露



3-3. 2018年

① 新年会

2018. 1.28開催 24名参加
大阪 梅田 がんこ阪急東通店
ハンドベル演奏披露



② お花見の会

2018. 4. 8開催 22名参加
滋賀 彦根城見学&屋形船
彦根グランドデュークホテル



③ 納涼会

2018. 7.28開催 16名参加
大阪 梅田 がんこ阪急東通店



④ 総会

2018.11.10開催 26名参加
(来賓2, 会員24)
神戸メリケンパークオリエンタルホテル
近畿支部横断幕新調

3-4. 2019年



① 新年会

2019. 1.26開催 18名参加
大阪 梅田 がんこ阪急東通店
ハンドベル演奏披露

② お花見の会

2019. 3.30開催 15名参加
兵庫 姫路 黒毛和牛本丸
姫路城見学・カラオケ大会

(姫路城)



③ 100周年記念母校訪問

(土樋及び多賀城キャンパス)
2019. 7. 8開催
土樋19名、多賀城10名参加

仙台での懇親会

2019. 7. 7開催 17名参加
(来賓1, 会員16)
秋保温泉・ホテルニュー水戸屋



④ 100周年記念総会

2019.11.16開催 33名参加
(来賓2, 会員31)
大阪 KKRホテル大阪
ハンドベル演奏披露

(大阪城)



4. 近畿支部 100周年記念事業の実施

<2019年近畿支部総会報告資料>

2019（令和元）年11月16日

東北学院同窓会近畿支部（TG青葉親睦会） 100周年記念事業の実施について

東北学院同窓会 近畿支部
100周年記念事業実行委員会

<経緯>

東北学院同窓会近畿支部（以下、近畿支部という）は、1919（大正8）年に設立された神戸支部がスタートで、その後京都支部、大阪支部が設立され、その後3支部が近畿支部に統合され、現在に至っている。

本年（2019年）は、近畿支部設立100周年という大きな節目を迎えて、この機会に「**100周年記念事業**」を実施して、近畿支部の設立から今日までの歴史を学ぶとともに、今後は新たな節目に向かって活動を展開していくこととする。

なお、記念事業の具体的実施内容は、実行委員会を設置して検討した。

<具体的実施内容>

（1）100周年記念誌の編集

近畿支部の過去の歴史を学ぶために、支部設立から今日までの100年間の活動を記念誌「**近畿支部100年のあゆみ**」として編集する。東北学院関係者及び近畿支部会員の皆さまの協力をえながら、2020年1月頃までにまとめる予定。

具体的内容は、関係者や会員からの寄稿、近畿支部の歴史（100年間）、役員・幹事体制と主な活動（最近10年間）及び最近の活動報告（2年間）等とする。

（2）母校訪問と仙台での懇親会の開催（別紙写真を参照）

① **母校訪問**：2019年7月8日（月）

- ・土樋キャンパス（参加者19名）：ラーハウザー記念礼拝堂、資料センター、旧宣教師館（デフォレスト館）及び中央図書館を見学、学食で昼食
- ・多賀城キャンパス（参加者10名）：礼拝堂、図書館、土木実験室を見学

② **仙台での懇親会**：2019年7月7日（日）

- ・開催場所・宿泊：仙台・秋保温泉 ホテルニュー水戸屋
- ・参加者：全部で17名（内、来賓1名（校友課羽賀課長様））
- ・内容：会員相互の懇親、ハンドベル披露、現役応援団による演舞披露

（3）100周年記念総会の開催

2019年11月16日（土）の総会は、「**100周年記念総会**」として位置づけて開催

（4）実行委員会の設置

上記内容を実施するため、国吉支部長を委員長とする「**100周年記念事業実行委員会**」を設置した。実行委員会は近畿支部の現在の支部長、副支部長、幹事及び針生相談役で構成、事務局は岡田幹事とした。

なお、上記100周年記念事業の実施にあたり、東北学院大学学生部次長 小原武久様には母校訪問及び記念誌へのご寄稿に、また東北学院校友課の前課長増田 敏様には近畿支部の歴史調査にそれぞれご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

＜別紙＞ 100周年記念行事「母校訪問と仙台・秋保温泉での懇親会」 (2019年7月7～8日)

① 母校訪問（土樋キャンパス）（19名参加） 2019. 7. 8 実施



② 母校訪問（多賀城キャンパス）（10名参加） 2019. 7. 8 実施



（水戸屋での懇親会に特別参加していただいた
現役応援団によるエールに、参加者は感動！）

③ 秋保温泉・ホテルニュー水戸屋での懇親会（17名参加） 2019. 7. 7～8 実施



近畿支部百周年記念行事 仙台母校訪問を実施

近畿支部は、今年、支部設立百周年を迎えた。一九一九(大正八)年五月十四日に神戸支部が設立、その二ヶ月後に大阪支部、一九三三(昭和八)年に京都支部が設立、この三支部が統合して現在の近畿支部に至っている。現在、近畿支部(近畿二府四県)には三百六十名の会員が登録されている。

百周年記念の年に、何か残ることを企画したいとのことで、数年前から検討し、今回、仙台母校訪問を本年七月八日に実現した。

前日の七月七日に秋保温泉「ホテルニュー水戸屋」に集合、羽賀校友課長をお迎えし、参加者十七名で、懇親会が開催された。神戸市在住の眞方氏の乾杯のご発声で懇親会が始まり、近畿で開く懇親会がそのまま秋保温泉に移ったよう、終始和

やかに会が進んだ。会員の友人二名(伊達市在住酒井氏・尾道市在住高橋氏)も参加され、美味しい差し入れもあって、懇親会は盛り上がり、あつという間のひと時であった。会の終わりに、現役応援団四名にも参加をいただき、応援団の素晴らしい演舞を披露いただき、昔を懐かしく感激した会員もおられた。

翌日八日には、マイクロバスで、「秋保大滝」を観光、昼には東北学院大学土樋キャンパスに到着した。現地集合された、転勤で仙台に勤務している加美山氏(前近畿支部事務局長)や盛岡市から水口氏、塩竈市から中間氏も参加、何年ぶりかでの再会であった。さらに「3L通信」に挿絵を描かれている古山(ご夫妻も)参加十九名での土樋キャンパス見学となった。

大学の小原学生部長、東北学院史資料センターの日野氏のご案内で、新しくきれいになった礼拝堂のステンドグラス、昔は、学食だった礼拝堂地下の「史資料センター」の展示物を見学しながら、昔を思い出し、感慨にふけった。

さらに現代的な図書館、重要文化財『デフォレスト館』を見学、二〇二三年四月誕生に向けた東北学院大学アーバンキャンパス計画もお伺いし、ますます発展する母校を誇りに思った。

記念写真は、新しくきれいになったステンドグラスの前で、偶然



に通りがかった元理事長の平河内氏も一緒に撮影し、記念の一枚となった。

現在の学食で、ランチタイムになり、昔を思い出しながら、食事、そこ

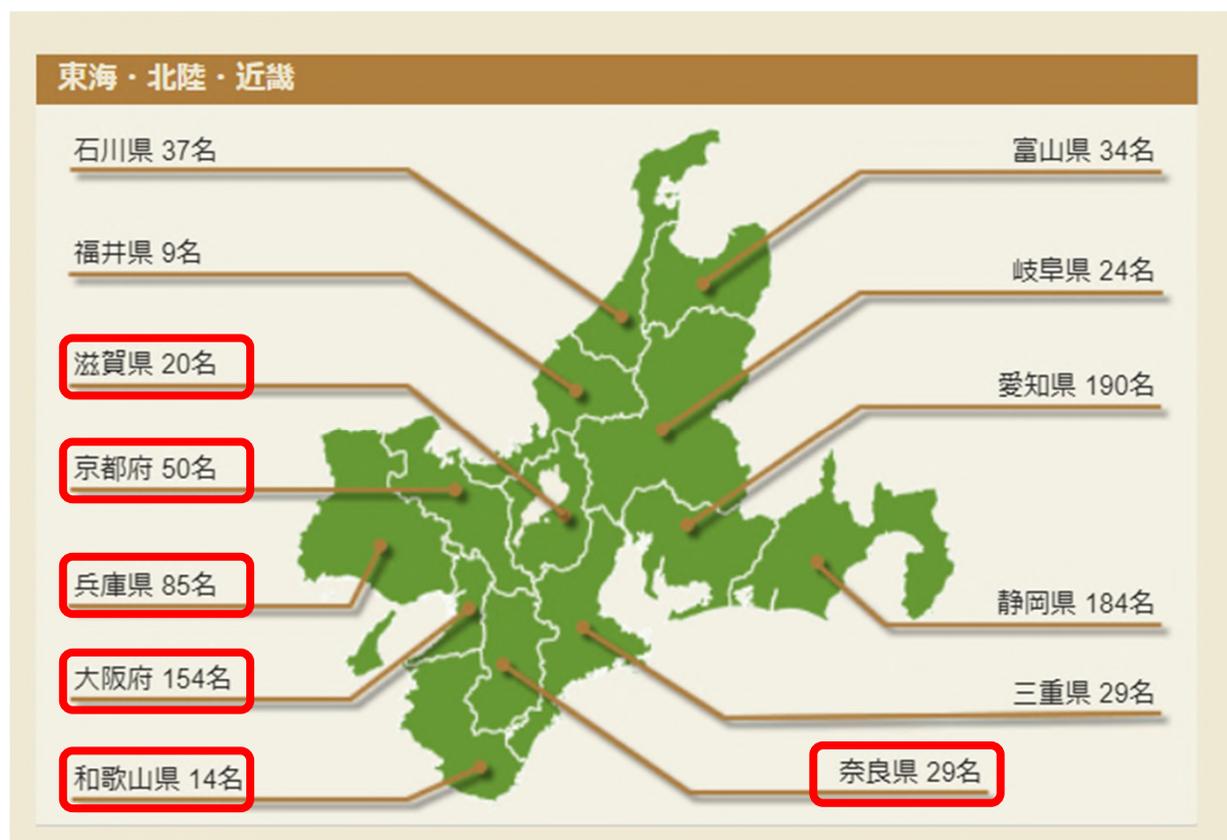
で解散となった。その後、希望者で多賀城キャンパスに移動し、工学部で現役学生の学ぶ姿を拝見。数年後には多賀城キャンパスが無くなることで、工学部出身者にとっては感慨深いものがあつた。

短い時間ではあつたが、皆それぞれに青春を過ごした懐かしいキャンパス内を歩き、昔を思い出したものと思われる。

この場をお借りして、今回の近畿支部の母校訪問にお力添えをいただいた学校関係者及びホテルニュー水戸屋の皆さんにお礼を申し上げます。
(事務局)

6. 近畿支部 会員MAP

近畿支部の会員数は2府4県（滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山）全部で352名となっている。（2019年5月現在）



（出典：東北学院同窓会HP）

資料

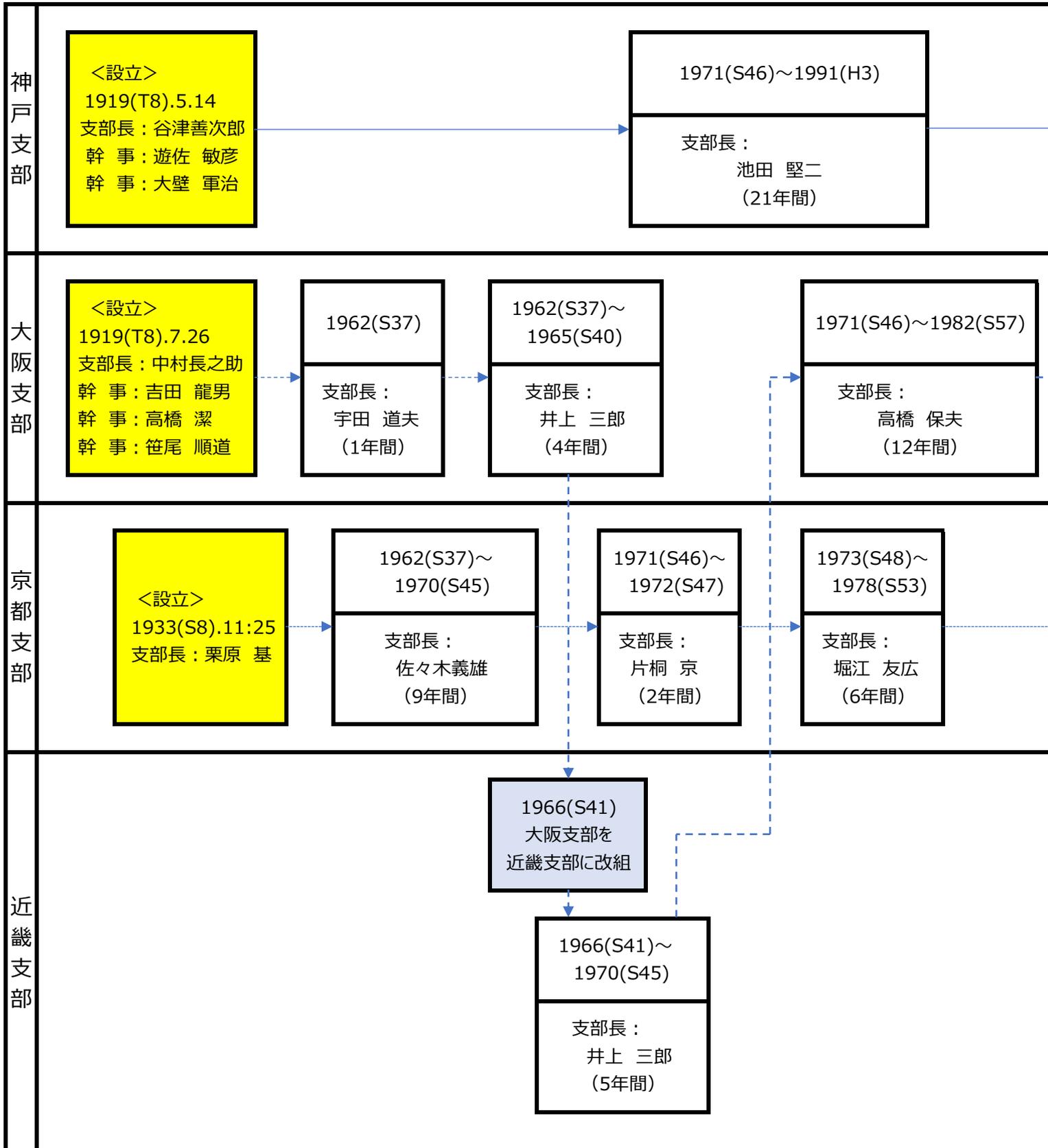
資料1：近畿支部の歴史（組織変遷：設立から100年間）

資料2：近畿支部 最近10年間の活動（2010年から2019年までの10年間）
＜役員・幹事体制＞

資料3：近畿支部 最近10年間の活動（2010年から2019年までの10年間）
＜主な活動＞

東北学院同窓会近畿支部の歴史

東北学院同窓会近畿支部の歴史はかなり古く、1919（大正8）年5月の神戸支部が発足し、その後大阪支部、京都支部が発足、



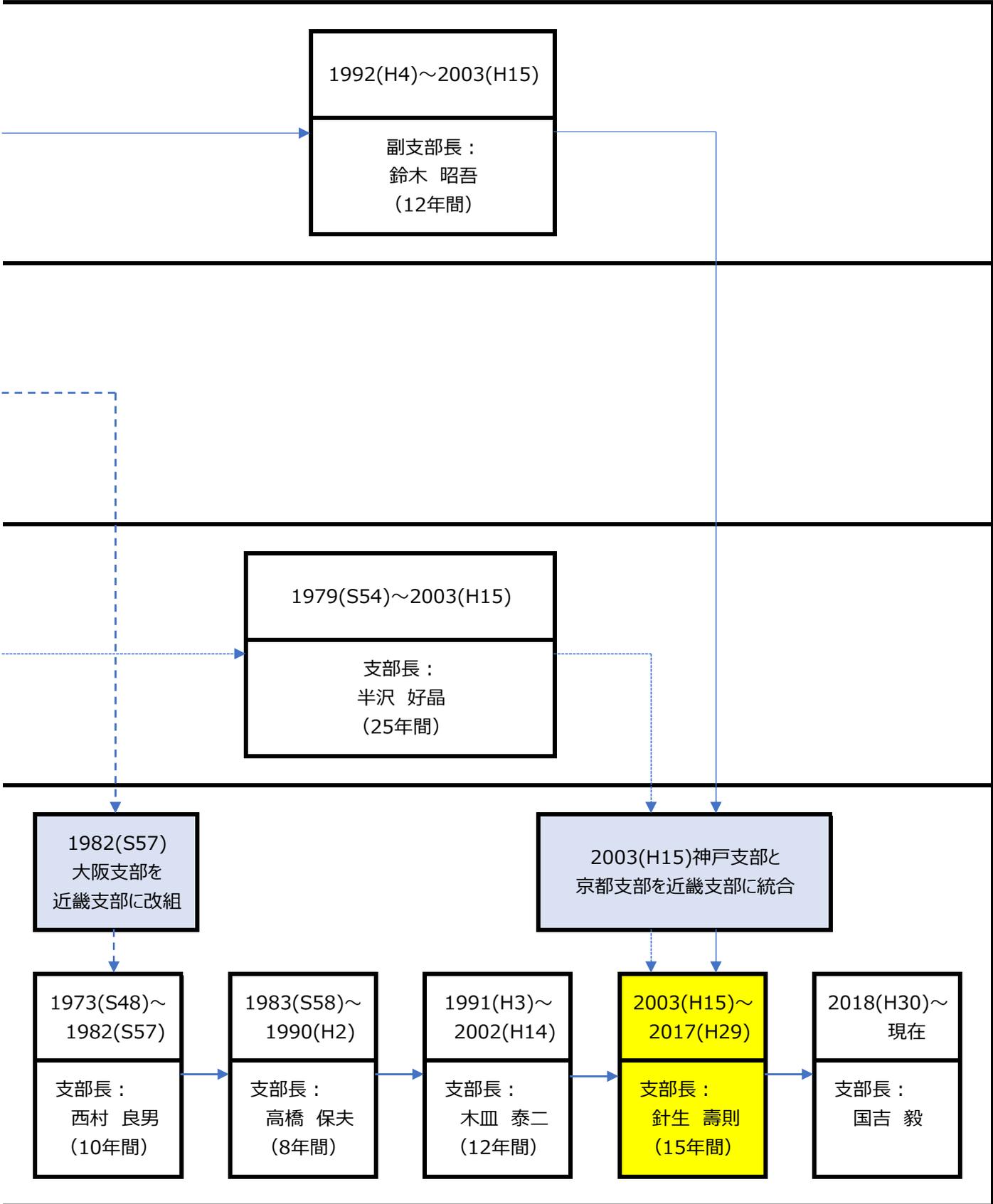
(備考) T:大正、S:昭和、H:平成の略号。また、当時の資料がなく、一部推測している部分あり

(組織変遷：設立から100年間)

資料1

それらが統合して近畿支部となり現在に至っている。2019年に近畿支部設立100周年を迎えている。

(敬称略)



東北学院同窓会近畿支部 最近10年間の活動

<役員・幹事体制>

	2010年 (平成22)	2011年 (平成23)	2012年 (平成24)	2013年 (平成25)	2014年 (平成26)
特記事項		・東日本大震災 発生 (3/11)		・女子会発足 ・年賀状送付開始	
会 員 数	378名		377名	378名	372名
支 部 長		針生 壽則 (神戸市)			
副支部長		桜井 勝 (堺市)	→		
副支部長		宇野 敦 (高石市)			
事務局長 (事務局)		加美山利幸 (島本町)		→	
幹 事		川原 康哉 (芦屋市)			
幹 事		国吉 毅 (羽曳野市)			
幹 事		丹野 義勝 (京都市)			
幹 事		千葉 昌尚 (八幡市)			
幹 事		結城 一男 (西宮市)	→		
幹 事		戸田 康子 (高槻市)	→		
幹 事		←	川端 征子 (岸和田市)		
幹 事		←	松谷 一枝 (枚方市)		
幹 事					←
幹 事					
幹 事					
幹 事					
相 談 役					

(2010年から2019年までの10年間)

資料2

(敬称略)

2015年 (平成27)	2016年 (平成28)	2017年 (平成29)	2018年 (平成30)	2019年 (平成31、令和元)
		・支部長交代 ・HP開設	・大阪北部地震 発生 (6/18)	・支部設立100周年 ・100周年記念事業実施
379名	370名	368名	364名	356名 (2019年9月現在)
			国吉 毅 (羽曳野市)	近畿支部 設立100周年
			戸田 康子 (高槻市)	
	丹野 義勝 (京都市)		丸山 匡 (神戸市)	
			(兼)戸田 康子(高槻市)	
			千葉 昌尚 (八幡市)	
			川端 征子 (岸和田市)	
			松谷 一枝 (枚方市)	
丸山 匡 (神戸市)			森川 瑞穂 (西宮市)	
			岡田 泰治 (西宮市)	
			庄子 次雄 (枚方市)	
			青木 弘美 (大阪市)	
			針生 壽則 (神戸市)	

東北学院同窓会近畿支部 最近10年間の活動

＜主な活動＞

	2010年 (平成22)	2011年 (平成23)	2012年 (平成24)	2013年 (平成25)	2014年 (平成26)
① 新年会	開催日：2/11 参加：19名 場所：京都 嵐山 花筏				開催日：1/25 参加：29名 場所：大阪 梅田 がんこ阪急東通店
② お花見会 (青葉会)		<青葉会> 開催日：4/17 参加：28名 場所：大阪 堺 源べい堺東店	開催日：4/1 参加：20名 場所：京都 伏見 黄桜酒場 ・「三十石船」乗船	開催日：4/13 参加：14名 場所：大阪 岸和田 岸和田五風荘 ・岸和田城、だんじり会館	開催日：4/6 参加：23名 場所：大阪 岸和田 川端 様邸
③ 納涼会					開催日：8/2 参加：19名 場所：大阪 梅田 がんこ阪急東通店
④ 総 会	開催日：11/27 参加：31名 (内 来賓2名) 場所：大阪 梅田 轟眞屋 HEP通店	(東日本大震災のため 総会は開催せず)	開催日：11/17 参加：29名 (内 来賓1名) 場所：大阪 梅田 和食居酒屋 ゆずの庭	開催日：10/19 参加：31名 (内 来賓2名) 場所：大阪 梅田 がんこ阪急東通店	開催日：10/19 参加：28名 (内 来賓2名) 場所：大阪 梅田 ニュートーキョー 第一生命ビル店
⑤ 幹事会	第1回 開催日：4/23 第2回 開催日：8/10	第1回 開催日：11/6	第1回 開催日：1/14	第1回 開催日：1/26 6名 参加 第2回 開催日：9/19	第1回 開催日：5/17 第2回 開催日：12/6 11名 参加 <兼 忘年会>
⑥ 女子会				第1回 開催日：3/12 9名参加 第2回 開催日：9/30 9名参加	
⑦ 100周年 記念事業					
⑧ その他	<神戸会> 開催日：10/2 参加：18名 場所：神戸 三宮 日本海庄や	<青葉会> 開催日：11/20 参加：24名 場所：大阪 高槻 鱗 高槻店 ・大震災義援金募集			<3L通信取材> 7/2 京都 新・古美術 白馬 張 敬博 様 7/3 大阪 弁護士 壺井 健一 様 ・Vol.17 に 掲載

2015年 (平成27)	2016年 (平成28)	2017年 (平成29)	2018年 (平成30)	2019年 (平成31、令和元)
開催日：1/24 参加：24名 場所：大阪 梅田 がんこ阪急東通店	開催日：2/6 参加：20名 場所：大阪 梅田 がんこ阪急東通店	開催日：2/26 参加：19名 場所：京都 嵐山 花筏 ・天龍寺 拝観	開催日：1/28 参加：24名 場所：大阪 梅田 がんこ阪急東通店	開催日：1/26 参加：18名 場所：大阪 梅田 がんこ阪急東通店
開催日：4/4 参加：19名 場所：大阪 KKRホテル ・大阪城公園 満開の桜散策	開催日：4/2 参加：20名 場所：兵庫 宝塚 明月記 宝塚店 ・ナイチンゲールの像見学	開催日：4/2 参加：16名 場所：大阪 岸和田 川端 様邸	開催日：4/8 参加：22名 場所：滋賀 彦根城 彦根グランドホテル ・「屋形船」乗船	開催日：3/30 参加：15名 場所：兵庫 姫路城 黒毛和牛本丸 ・姫路城見学・カラオケ大会
開催日：8/2 参加：24名 (内 来賓1名) 場所：大阪 梅田 がんこ阪急東通店	開催日：7/31 参加：13名 場所：和歌山 六三園 ・和歌山城散策	開催日：7/29 参加：22名 場所：神戸メリケンパーク オリエンタルホテル ・神戸港クルーズ、ポートタワー	開催日：7/28 参加：16名 場所：大阪 梅田 がんこ阪急東通店	(100周年記念事業で 納涼会は開催せず)
開催日：11/14 参加：31名 (内 来賓3名) 場所：大阪 KKRホテル大阪	開催日：11/12 参加：26名 (内 来賓3名) 場所：大阪 KKRホテル大阪 ・初めて礼拝を導入	開催日：11/11 参加：31名 (内 来賓3名) 場所：大阪 梅田 がんこ阪急東通店 ・支部長交代 (針生氏から国吉氏へ) ・ハンドベル演奏初披露	開催日：11/10 参加：26名 (内 来賓2名) 場所：神戸メリケンパーク オリエンタルホテル ・近畿支部の横断幕を 新調	100周年記念総会 開催日：11/16 参加：33名 (内 来賓2名) 場所：大阪 KKRホテル大阪
	第1回 開催日：5/27 第2回 開催日：9/14	第1回 開催日：1/12 10名 参加 第2回 開催日：9/4 11名参加	第1回 開催日：1/17 7名参加	第1回 開催日：2/1 8名参加 第2回 開催日：8/30 9名参加
第1回 開催日：6/24 10名参加	第1回 開催日：6/24 12名参加	第1回 開催日：9/4 12名参加 ・学院時報744号 (2018年3/15)に掲載	第1回 開催日：2/6 8名参加	第1回 開催日：2/27 8名参加 第2回 開催日：10/30 7名参加
			(100周年記念事業の 内容を検討)	①実行委員会設置 ②母校訪問：7/8 土樋 19名参加 多賀城 10名参加 ③仙台 懇親会：7/7 秋保温泉・水戸屋 17名参加 ④近畿支部「100年 のあゆみ」を編集
		<HP開設> <ゴルフコンペ> 開催日：4/21 6名参加 宇治 日清都カントリー クラブ	<ゴルフコンペ> 開催日：6/8 6名参加 宇治日清都カントリークラブ 開催日：10/26 4名参加 枚方国際ゴルフ倶楽部	<古山 拓 様 水彩画展観賞> 開催日：5/14 参加：10名 場所：神戸 トアギャラリー

<memo>

【編集後記】

100年も遡って歴史を調査するなんて、困難が予想される作業をなぜ開始したのだろうかと何度も悩みましたが、たくさんの方々にご協力をいただき、この度 記念誌「近畿支部100年のあゆみ」を編集することができました。ご協力をいただきました皆さまに対しまして深く感謝申し上げます。

最近の近畿支部の活動は女性の参加者が多いことが特徴で、100年も活動できたのは諸先輩の方々のご尽力は勿論のこと、最近では女性会員のパワーがあったからこそ今日を迎えていると考えています。近畿支部は新たな節目に向かって活動していきますので、今後ともご支援をお願いいたします。
(幹事：庄子 次雄)

仙台を離れて30数年が経ったころ、戸田さんから親睦会の案内がありました。何度かの案内に返事も出さずにそのままにしていたのですが、一度参加してからは病みつきになり、毎回楽しい時間を過ごしています。

幹事として微力ながら、100周年を迎え、今後の発展のお手伝いができればと思っています。
(新幹事：中山 裕)



仙台・秋保大滝
(2019. 7. 8)



**東北学院同窓会 近畿支部 100年のあゆみ
(100周年記念誌)**

発行日：2020 年 10 月 1 日

編集者：100周年記念事業実行委員会

本資料に関する問合せは、近畿支部幹事 庄子（ショウジ） 090-5053-6406）までご連絡ください。